

れいわ山形おしゃべり会 ゲスト: にとうべとうま

昭和57年1月18日 山形県大石田町生まれ

日本大学文理学部文学専攻(英文学)卒業

東京にて俳優養成所の仲間と小劇団旗揚げ(出演・脚本・演出・音楽担当)

インディーズレーベルよりCDデビュー(インストゥルメンタル作品)

ボーカロイド「初音ミク」の楽曲制作(二藤部冬馬feat. 初音ミク として販売中)

H26年～公立中学校英語教員

令和元年 大石田町議会議員選挙 初当選

令和4年 れいわ新選組に入党



【最上川中流】

令和2年7月27日～29日洪水による被害状況 (大石田町大石田・横山)

最上川
流域図



最上川中流 大石田大橋付近 (86.7k付近)

山形県 左岸大石田町横山地先、
右岸大石田地先

※河川監視用カメラより撮影

令和2年7月29日 2:50撮影

最上川水系最上川左岸86.7k
大石田大橋

氾濫が発生



令和2年7月29日 1:00撮影



令和2年7月29日 1:00撮影



令和2年7月29日 1:00撮影



令和2年7月29日 11:50撮影



令和2年7月29日 5:00撮影

©YBC

7月豪雨で116棟が浸水
大石田町 3000人に避難指示

YBC NEWS EVERY

災害弱者を
どう守るか



3密回避は難しい(中学校体育館)7/29午前





一般質問 一町の考えを問う



避難所の対応
今後の課題は

二藤部 冬馬 議員

避難所の運営は
非常に困難だった

町 長



携帯電話は今や命綱!

避難所の対応
水害時の避難所対応は、
町長の経験は非常に豊富
であり、避難者の生活回
りへの配慮は、
多岐にわたる。
避難所の運営は、
避難者の生活回
りへの配慮は、
多岐にわたる。
避難所の運営は、
避難者の生活回
りへの配慮は、
多岐にわたる。

町長 避難所においては、
水位・状況等の情報
が伝わり、不安であった
ことに加え、
避難所の運営は、
避難者の生活回
りへの配慮は、
多岐にわたる。

避難所の運営は、
避難者の生活回
りへの配慮は、
多岐にわたる。

避難所の運営は、
避難者の生活回
りへの配慮は、
多岐にわたる。

会館でも話を通じて、
教育委員、保護者、各
校に伝えている。子
ども達の活動場所を
決めておくことは、
非常に重要である。
避難所の運営は、
避難者の生活回
りへの配慮は、
多岐にわたる。

避難所の運営は、
避難者の生活回
りへの配慮は、
多岐にわたる。

避難所の運営は、
避難者の生活回
りへの配慮は、
多岐にわたる。



3密回避は難しい(中学校体育館)7/29午前

プロフィール①2期目当選

2023.11月 大石田町議会議員選挙 2期目当選 6位 352票(無所属10人、れいわ公認1人)

2023 大石田町議会議員選挙 開票結果

順位	届出番号	候補者名	政党名	現/元/新	得票数
1	4	芳賀きよし	無・諸派	現	609.000
2	9	川崎よしはる	無・諸派	新	543.000
3	10	村形しょういち	無・諸派	現	495.000
4	6	海藤よしのり	無・諸派	新	477.000
5	8	大山二郎	無・諸派	現	438.000
6	3	にとうべとうま	れいわ	現	352.000
7	7	遠藤かずよし	無・諸派	新	338.000
8	1	小玉勇	無・諸派	現	305.000
9	5	今野まさのぶ	無・諸派	現	287.000
10	11	大野達也	無・諸派	新	209.000
11	2	おかざき英和	無・諸派	現	205.000

主なテーマ

- 政治家になった理由
- 教育現場の現状と課題
- 地方衰退の現状
- ロスジェネ世代



ロスジェネ世代 2000年～

2000年ごろ、演劇・音楽活動を目標に上京。1997年の消費税5%へ増税を機に急降下する日本経済を東京で見ることになる。アルバイト先では、「100年に一度の大恐慌。働けることがありがたいと思え。」と言われながら働く。上がらない賃金。上がり続ける税金。見つからない雇用先。働けど苦しくなるアーティスト生活を体験。

1世帯あたりの所得の中央値の推移



非正規労働者 2009年～

20代後半。いわゆる「安定」を求めて、就職を考えるが、当時、日本の現状はまさに地盤沈下。周りを見渡せば、低賃金、非正規、長時間労働、厳しくなっている同世代の働き方。

希望の職種にと、学び直す事を選択した自身も、学費を工面しながらの生活で、一時ホームレス状態に。



教師として見た教育現場の現状 2014年～

教員免許(英語科)を取得し、2014年より念願の中学校英語教員となる。子どもたちとの日々は、最高の時間であったが、人材不足、予算不足の中、過労死ラインを超える長時間労働を幾度も経験。疲弊し辞めていく同僚。自分自身も過労・ストレスによる病休を体験した。子どものためにもならない、働く教師のためにもならない、教育現場の現状を訴える。



地方議員として 2019年～

2019年、地元大石田町議会議員選挙に出馬、初当選。地方議員として、教育現場の労働環境是正、ロスジェネ、若者の移住定住、子育て支援、福祉、人口減少、少子化問題へ取り組むも、行き着くところは財政難。行き届かないインフラ整備、公共サービス。進まない賃上げ、雇用の場の不足。



教育現場の問題と同等に「地方衰退の現状」に危機感を覚える



れいわ新選組として 2022年～

大切な仲間も建物も日に日に失われていく、地方衰退の現状を目の当たりに。

地方における積極財政の必要性、すべての世代が前向きになれるような政策の必要性を訴える。出身の山形県大石田町。90年代まで1万人を超えていた人口は、現在約6200人。令和4年度の婚姻件数は、わずか4件。令和5年度上半期出生予定数は3～5。

40歳を手前に町を出ていく同世代。



教職員時代①

H26年(2014)～宮城県公立中学校勤務(英語・常勤講師)

・1年生英語教科担任、副担任、女子バレーボール部顧問

H27年(2015)～関東圏で公立中学校勤務(英語科・1年～3年生担任業務)

・2015年 1年生副担任(2クラス)、女子ソフトボール部顧問

・2016年 2年生学級担任・英語教科担任、女子ソフトボール部顧問

・2017年 3年生学級担任・英語教科担任、女子バレーボール部顧問

・2018年 1年生学級担任、英語科主任、水泳部顧問 ★不眠症・うつ病を発症

H31年(2019)～山形県公立中学校勤務(英語科・2年生担任、陸上部顧問)



教職員時代②

- ・5年目、ある日突然、1日1時間程度しか眠れない日が約2週間続くようになる
- ・毎日、同じ時間に同じ悪夢で目が覚めてしまう
- ・心療内科でうつ病の診断を受ける
- ・朝、学校に欠席の連絡を入れた後、体育座りの格好で12～18時間過ごすような日々



教職員時代③

- ・自分が精神疾患を患うまで、「自己責任」だと思っていたが、改めて、長時間労働の怖さや、全国的に疾患に陥る教師が多くいる現状を知った
- ・子どものためにもならない、働く教師のためにもならない教育現場の労働環境について疑問を抱く



教職員時代4

- ・教師として復帰するも、病休していた時の悔しさや、何も解決に向かわない教育行政への不信感が募る
- ・自分は無事復帰できたが、それでいいのか？
- ・声を挙げようにも、一介の教師としてでは声はかき消されてしまう
- ・政治の世界へ入ることによって、広く訴えていけるのではないか。



町議会議員選挙へ

長時間労働の現状（全国） 1

・ 過労死ライン

病気や死亡、自殺に至るリスクが高まる労働時間のことであり、それらの害が労働に起因するものだと認定する基準のことを言います。法律上では、「発症前1ヵ月間に100時間」あるいは「発症前2～6ヵ月間平均で80時間」を超える時間外労働の場合は、業務と発症との関係性を認定できるとされています。

・ 過労死ライン超え

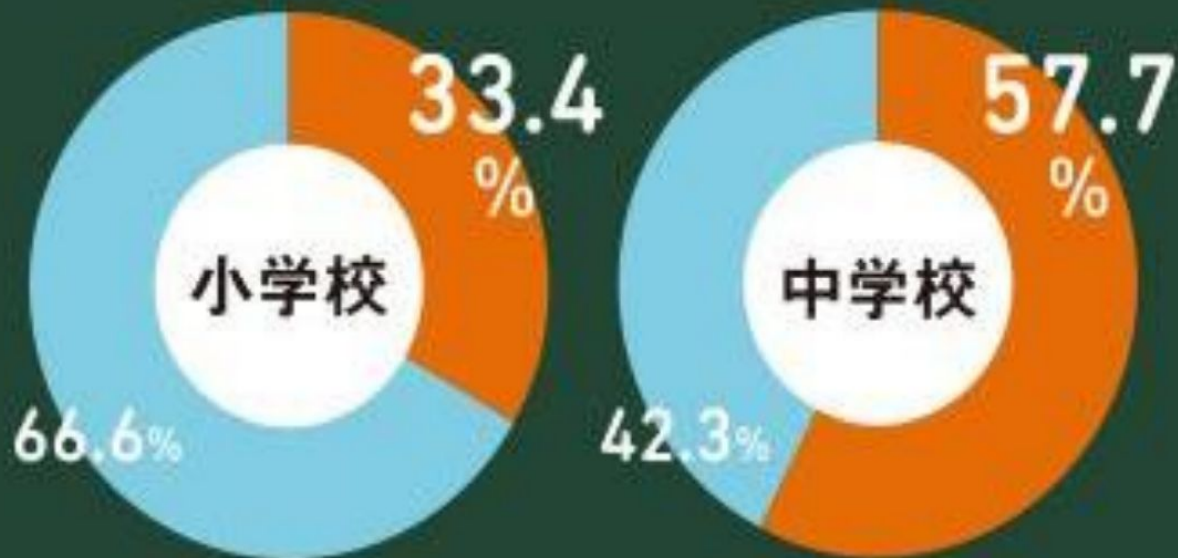
小学校3割の教員 / 中学校6割の教員

・ 教員勤務時間平均

1 1 時間 1 7 分



60 時間以上 60 時間未満



長時間労働の現状 (全国) 2

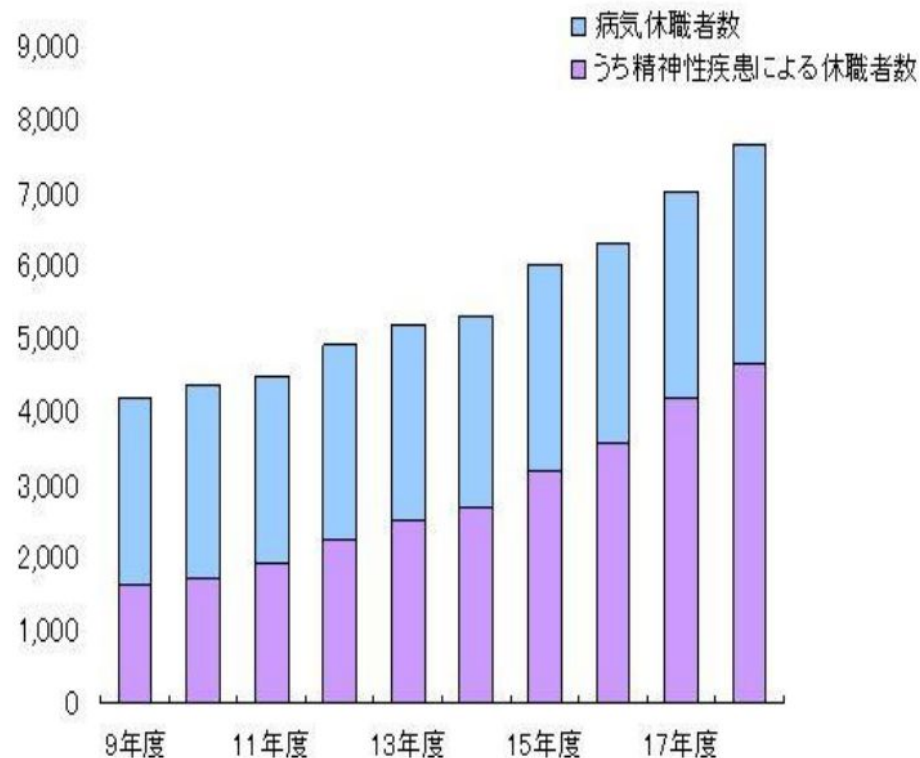
長時間労働の弊害

- ・ 病休、精神疾患が増える
- ・ 精神疾患休職者5000人超え
- ・ 過労死
- ・ 生徒と余裕を持って接することが出来ない
- ・ 自分の家庭を大事に出来ない
- ・ 教員不足（授業すら出来ない、担任不在）

- ・ 過労死、精神疾患は、人を選ばない

（超超過勤務でも元気いっぱい夢いっぱいで自ら働いている教員にも突如訪れる。疲れていても実感が無い。）

病気休職者数等の推移(平成9年度～平成18年度)



(氏名) *Tohma Nitohbe feat. Mika Hatsune*

病名 *Trauma*

上記の通り診断いたします



Sad Memories

Tohma Nitohbe feat. 初音ミク



町議会議員として、
教育現場の現状と同様、地方衰退の現状に危機感を抱く

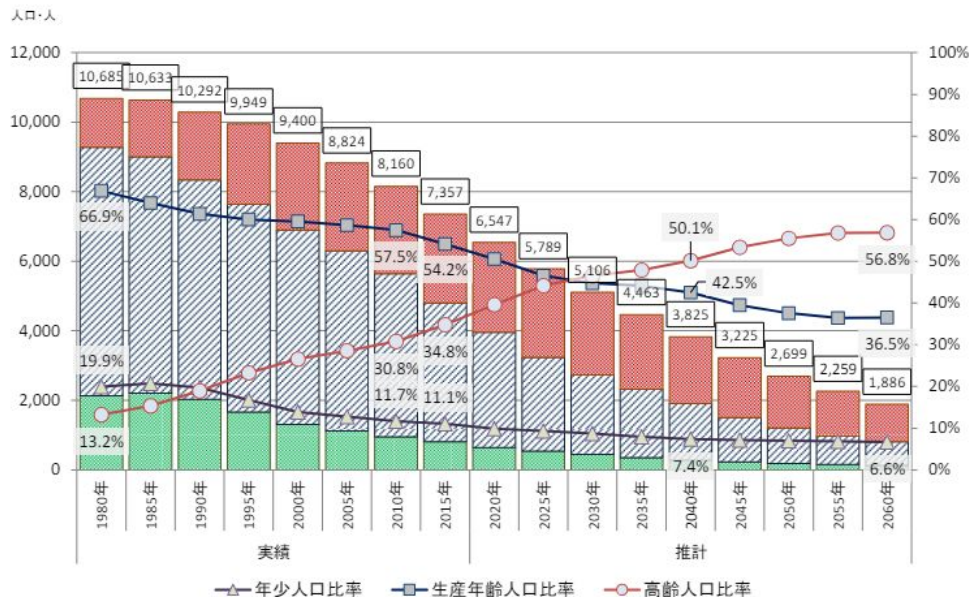
地方衰退の現状① 大石田

※参考資料：R2大石田町人口ビジョン、町民税務課作成 出生総数資料

ピーク時人口1万人以上(1996年ごろまで)⇒ 現在約6200人

※年間約200ずつ減少傾向

■総人口の推計結果



出生総数

1980年 159人

1996年 71人

2022年 17人

地方衰退の現状②

大石田町 婚姻届け出数(町内在住)

令和4年度 4件

令和5年度 3件

※(11月末時点)

地方衰退の現状③ 大石田町推定独身者の状況(R3.10月調べ)

※町民税務課作成資料参考

20代男性 88.4%(199人)

20代女性 85.4%(170人)

30代男性 58.1%(157人)

30代女性 42.4%(97人)

40代男性 47.2%(192人)

40代女性 32.1%(125人)

50代男性 41.3%(162人)

50代女性 19.7%(71人)

60代男性 25.6%(152人)

60代女性 17.6%(103人)

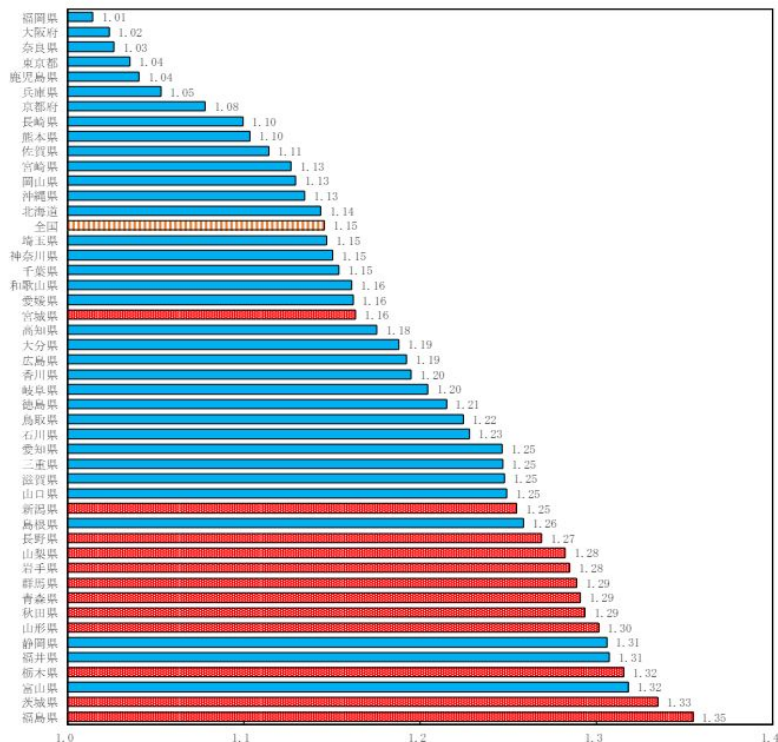
※30歳～59歳までの男性平均未婚率48.9%

調査方法 ※同一世帯に配偶者が無い人を独身者と推定した
※配偶者が無い理由(未婚・離婚・死別・婚姻中の別居)は不問

性別による人口の不均衡 —内閣府資料—地域の経済2023

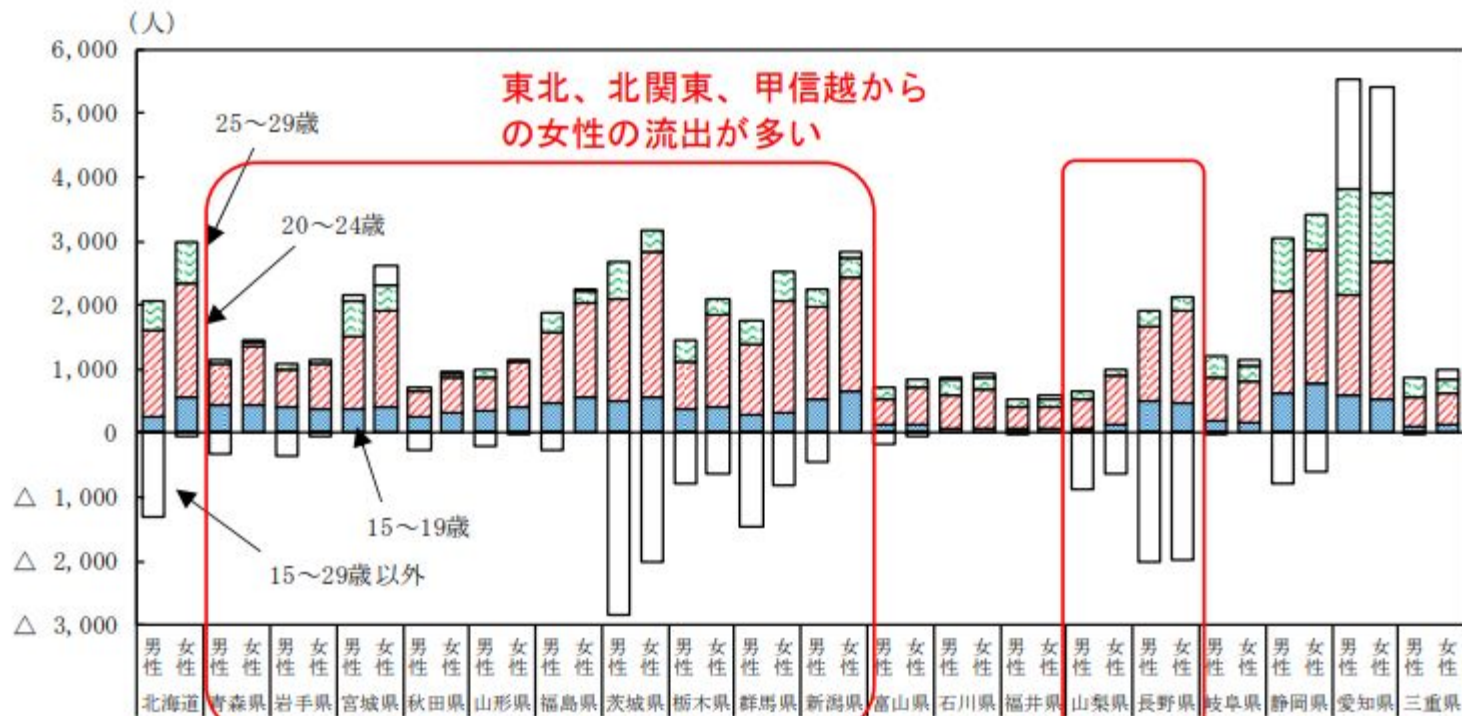
第1-2-13図 未婚者の男女比（女性1に対する男性の数）（2020年）

(1) 20~34歳



地方では**性別による人口の不均衡という構造的な問題も生じている**。20~34歳の未婚者の男女人口比(女性1人に対する男性の人数)を都道府県別にみると、1.2を上回る県は24県、1.3を上回る県は7県あり、特に若い女性の流出が進む**北・東日本では相対的に未婚男性の比率が高くなっている**(第1-2-13図(1))。未婚者の男女人口比は、若年層では年齢が上がるに連れて高まる傾向にあり、30~34歳では1.6を上回る県が8県にもなり、性別による人口の不均衡はより深刻になっている。(第1-2-13図(2)~(4))。こうした性別による人口の不均衡は、**中長期的に地域の少子化・人口減少につながり、地域経済の存立を危ぶませる要因となっている**。

第1-2-12図 東京圏への転入超過数（性別/年齢階層別/都道府県別、2022年）



福島県を除く東北各県(青森、秋田、岩手、山形)は仙台市の人口(99万8千人)を下回る。

表Ⅱ-1 都道府県別総人口と指数(令和2(2020)年=100)

地域	総人口(1,000人)							数(令和2(2020)年=100)	
	令和2年 (2020)	令和7年 (2025)	令和12年	令和17年	令和22年	令和27年	令和32年	令和17年	令和32年
全国	126,146	123,262	120,116	116,639	112,837	108,801	104,686	92.5	83.0
北海道	5,225	5,007	4,792	4,562	4,319	4,068	3,820	87.3	73.1
青森県	1,238	1,157	1,077	996	914	833	755	80.4	61.0
岩手県	1,211	1,138	1,066	995	924	853	783	82.2	64.7
宮城県	2,302	2,239	2,172	2,097	2,014	1,924	1,830	91.1	79.5
秋田県	960	888	819	752	686	622	560	78.3	58.4
山形県	1,068	1,005	945	886	828	769	711	83.0	66.6
福島県	1,833	1,732	1,640	1,546	1,449	1,349	1,247	84.4	68.0

宮城県自体も人口の半分強が仙台市民となる推計。

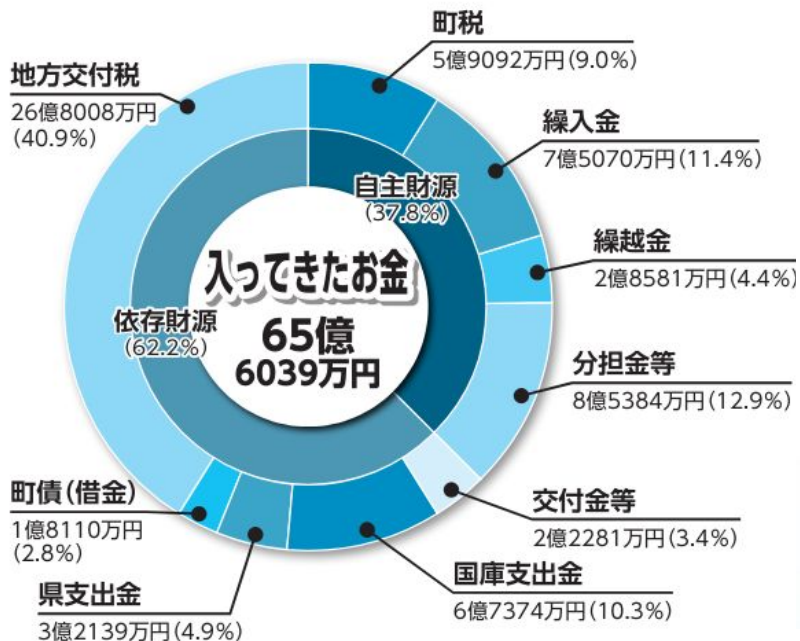
口および指数（令和2（2020）年＝100とした場合）			市などの別：a＝都道府県，0＝政令市の区（東京23区を含む），1＝政令市，2＝特別区							
			福島県「浜通り地域」は、いわき市、相馬市、南相馬市、広野町、上記13市町村の個別の推計値は存在しません。							
どの別	都道府県	市区町村	総人口（人）							
			2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	
3	岩手県	洋野町	15,091	13,512	11,992	10,574	9,263	8,002	6,821	
3	岩手県	一戸町	11,494	9,938	8,783	7,714	6,739	5,817	4,956	
	宮城県		2,301,996	2,238,723	2,172,047	2,097,403	2,014,339	1,923,846	1,829,565	
1	宮城県	仙台市	1,096,704	1,097,004	1,090,319	1,076,945	1,056,113	1,029,157	998,832	
0	宮城県	仙台市青葉区	311,590	316,178	316,827	314,987	310,172	303,072	295,315	
0	宮城県	仙台市宮城野区	196,732	193,585	193,665	192,696	190,496	186,892	182,128	
0	宮城県	仙台市若林区	141,475	143,747	143,469	142,337	140,302	137,423	133,922	
0	宮城県	仙台市太白区	234,758	238,726	236,241	232,913	228,334	222,818	216,743	
0	宮城県	仙台市泉区	212,149	204,768	200,117	194,012	186,809	178,952	170,724	
2	宮城県	石巻市	140,151	131,404	122,272	113,200	104,232	95,386	86,785	

山形県の人口、約106万人(2020年) ⇒ 約71万人(2050年)の推計。大石田町は、約6200(2023年) ⇒ 3082人(2050年)

5					2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
350	6212	2	山形県	尾花沢市	14,971	12,987	11,344	9,886	8,565	7,333	6,207
351	6213	2	山形県	南陽市	30,420	28,221	26,419	24,628	22,851	21,110	19,390
352	6301	3	山形県	山辺町	13,725	12,940	12,148	11,369	10,582	9,787	8,978
353	6302	3	山形県	中山町	10,746	9,995	9,267	8,550	7,835	7,125	6,417
354	6321	3	山形県	河北町	17,641	16,421	15,188	14,020	12,893	11,763	10,671
355	6322	3	山形県	西川町	4,956	4,296	3,735	3,239	2,789	2,374	1,987
356	6323	3	山形県	朝日町	6,366	5,633	4,983	4,393	3,847	3,322	2,835
357	6324	3	山形県	大江町	7,646	6,930	6,325	5,739	5,165	4,599	4,059
358	6341	3	山形県	大石田町	6,577	5,871	5,244	4,664	4,108	3,580	3,082
359	6361	3	山形県	金山町	5,071	4,509	4,027	3,569	3,132	2,715	2,317
360	6362	3	山形県	最上町	8,080	7,245	6,490	5,769	5,096	4,447	3,830
361	6363	3	山形県	舟形町	5,007	4,484	4,012	3,593	3,208	2,817	2,436
362	6364	3	山形県	真室川町	7,203	6,363	5,626	4,949	4,316	3,728	3,176
363	6365	3	山形県	大蔵村	3,028	2,668	2,365	2,083	1,821	1,583	1,346
364	6366	3	山形県	鮭川村	3,902	3,502	3,125	2,756	2,417	2,081	1,776
365	6367	3	山形県	戸沢村	4,199	3,718	3,310	2,917	2,540	2,185	1,848
366	6381	3	山形県	高畠町	22,463	20,643	19,257	17,882	16,549	15,195	13,826

地方衰退の現状⑤ 財政状況 R4年度決算 一般会計 大石田町

一般会計歳入歳出決算

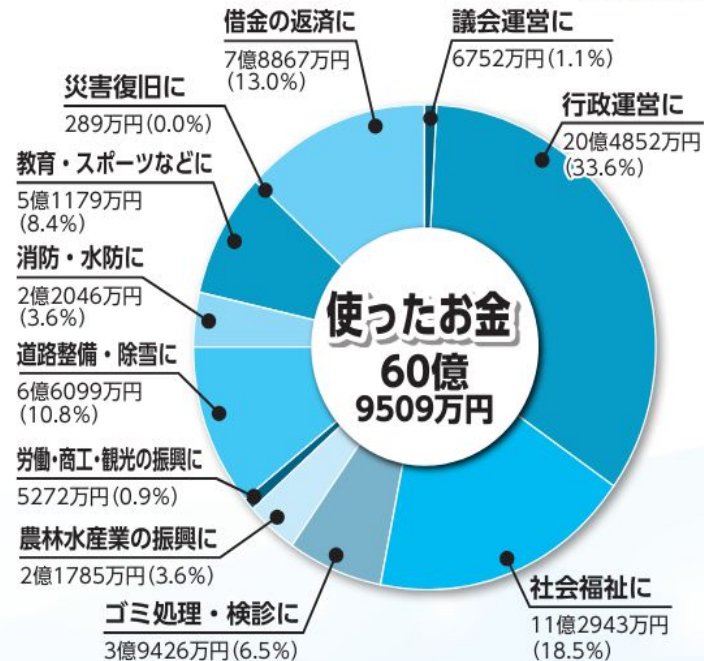


【自主財源】

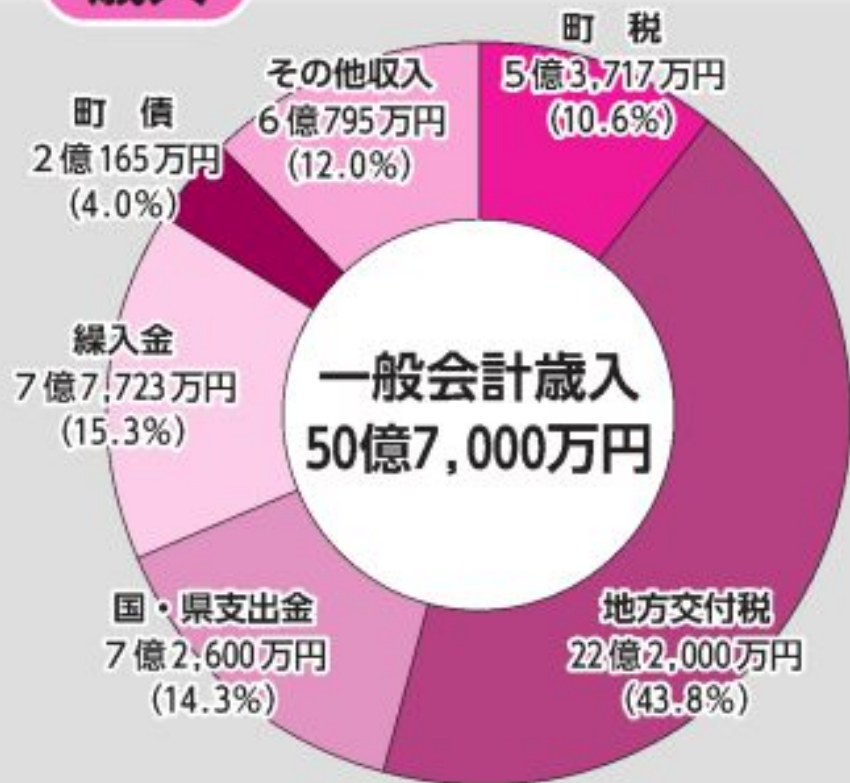
町税や繰越金など、町が独自に調達したお金。

【依存財源】

地方交付税や国庫支出金など、国・県から定められた金額が交付されるお金。



歳入



歳入における前年との比較

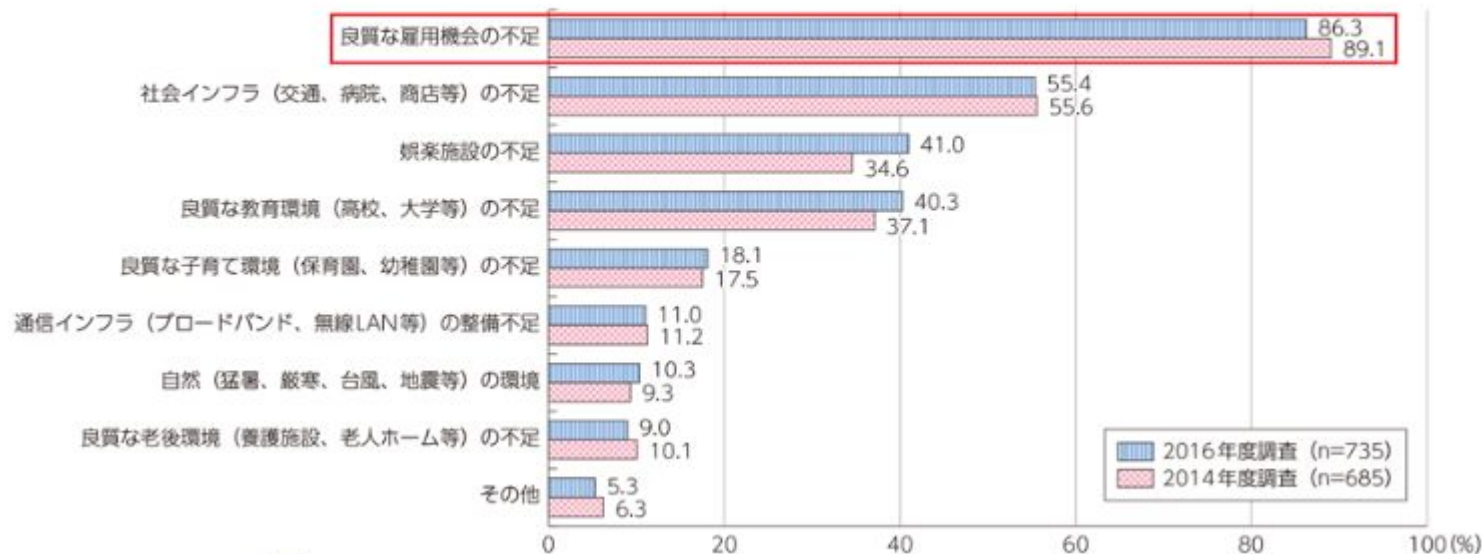
区分	上段：増減額 (増減率) 下段：前年度予算額	
町税	▲ 566万円 (▲ 1.0%) 5億4,283万円	↓
地方交付税	▲ 3,900万円 (▲ 1.7%) 22億5,900万円	↓
国・県支出金	▲ 5,206万円 (▲ 6.7%) 7億7,806万円	↓
繰入金	1億347万円 (15.4%) 6億7,376万円	↑
町債	3,165万円 (18.6%) 1億7,000万円	↑
その他収入	▲ 1,840万円 (▲ 2.9%) 6億2,635万円	↓

どうして地方から人がいなくなったのか

地方圏から3大都市圏への流出の背景

賃金や安定性、やりがい等の点で良質な雇用が不足していることから、若者が相対的に良質な雇用を求めて三大都市圏に流出していることがある(図表4-1-1-3)。

図表4-1-1-3 地方自治体が考える人口流出の要因



出典：総務省 情報通信白書 H29年度

賃金や安定性、雇用機会を壊したのは

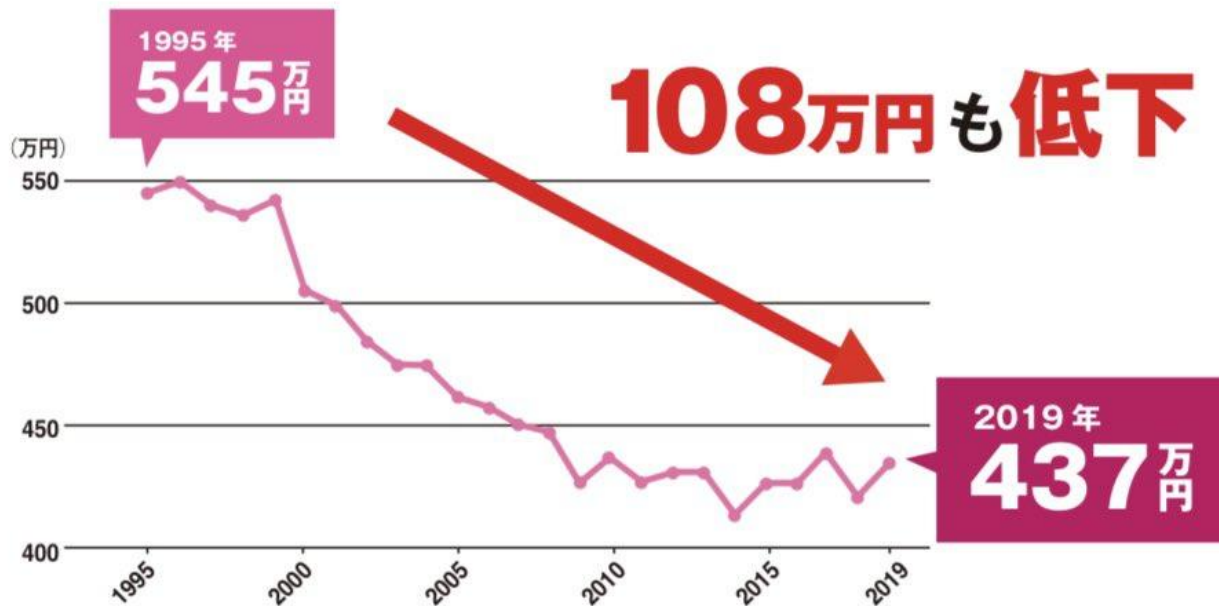


政治と誤った国の政策

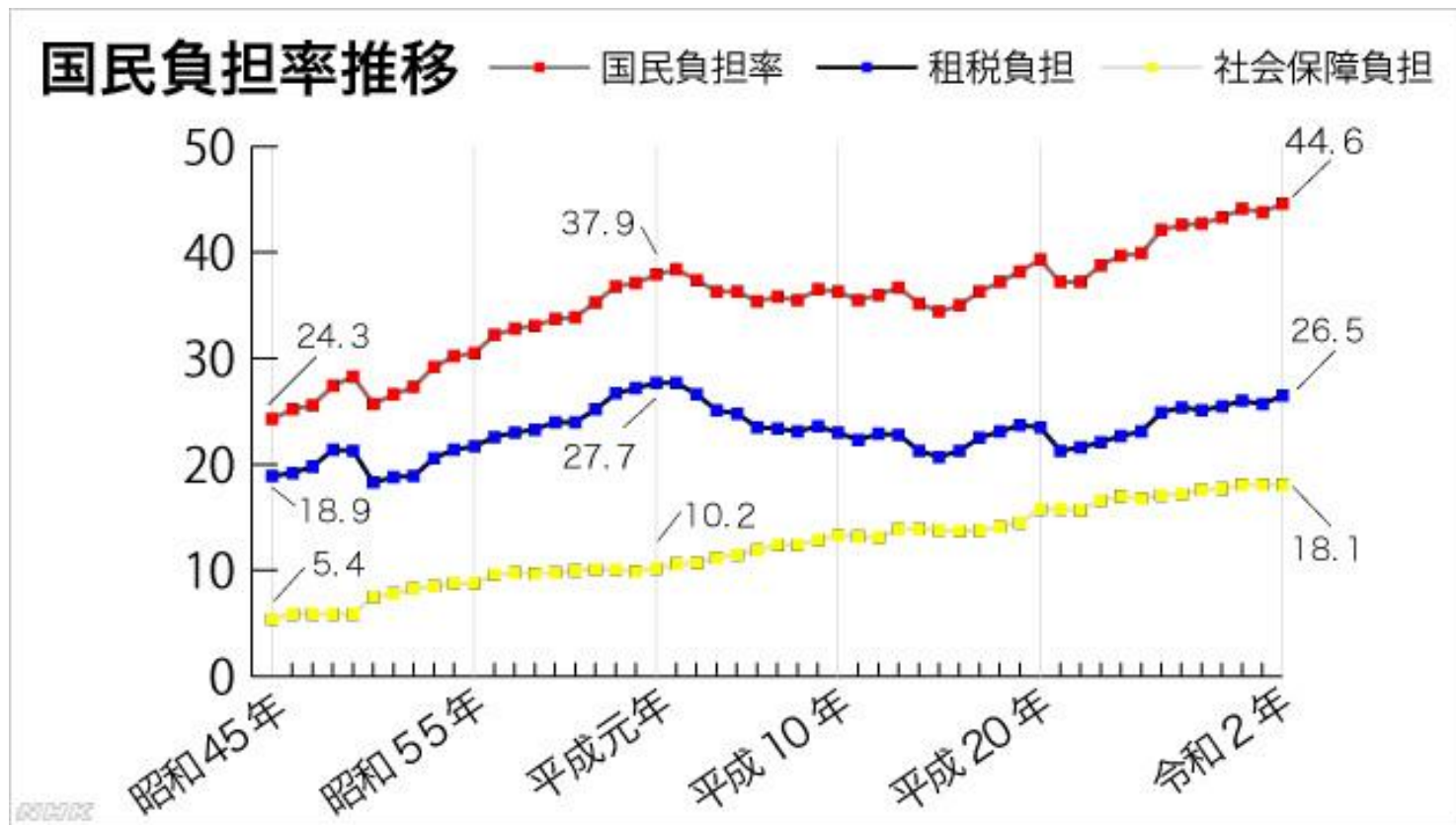
日本の現状②



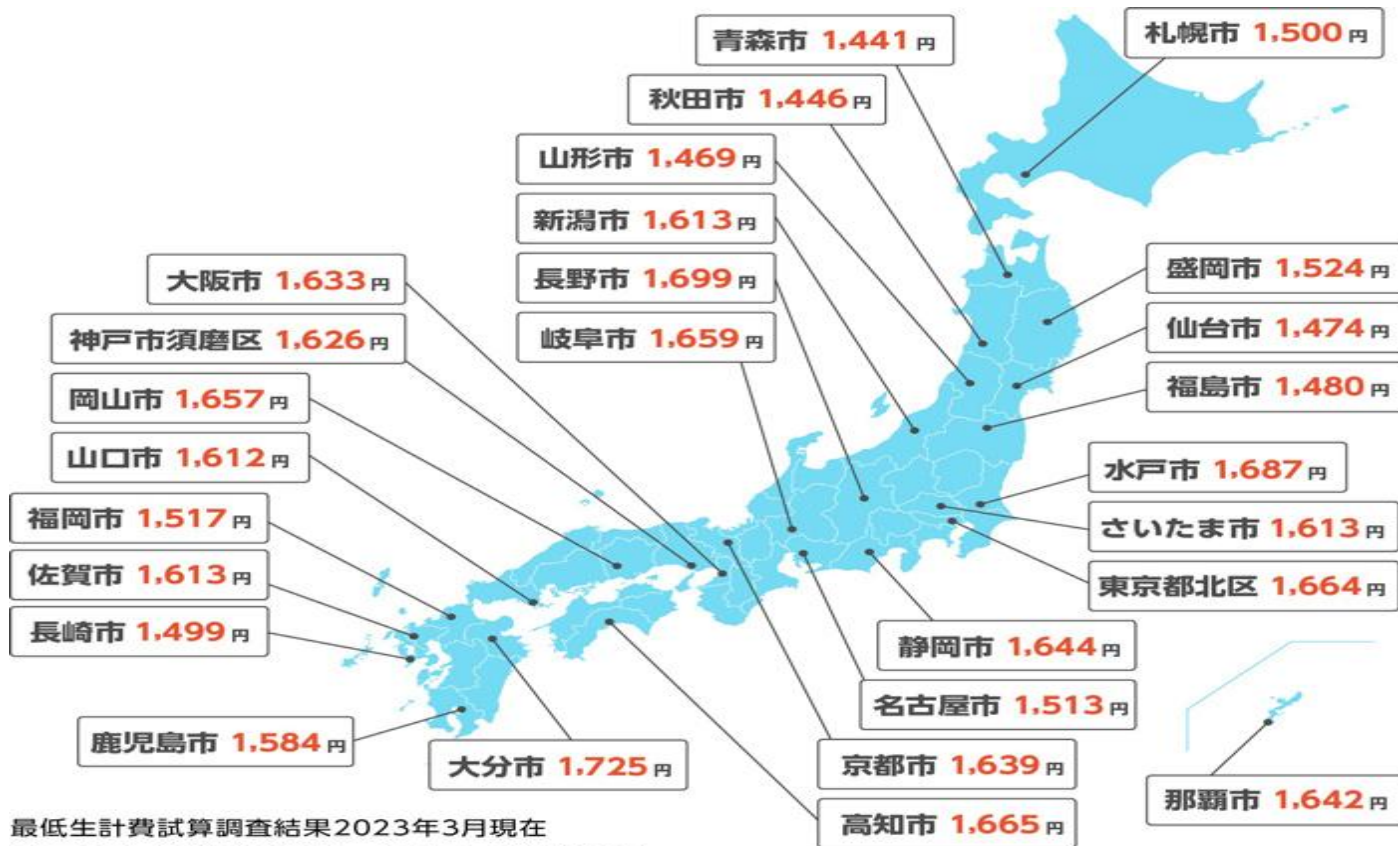
1世帯あたりの所得の中央値の推移



日本の現状③ 税負担率



日本の現状④ 最低生計費は？



最低生計費試算調査結果2023年3月現在
(静岡県立大学短期大学部 中澤秀一准教授監修)

日本の現状①

2019年 国民生活基礎調査

生活が「苦しい」と感じている
世帯の割合

全世帯 → 54.4%

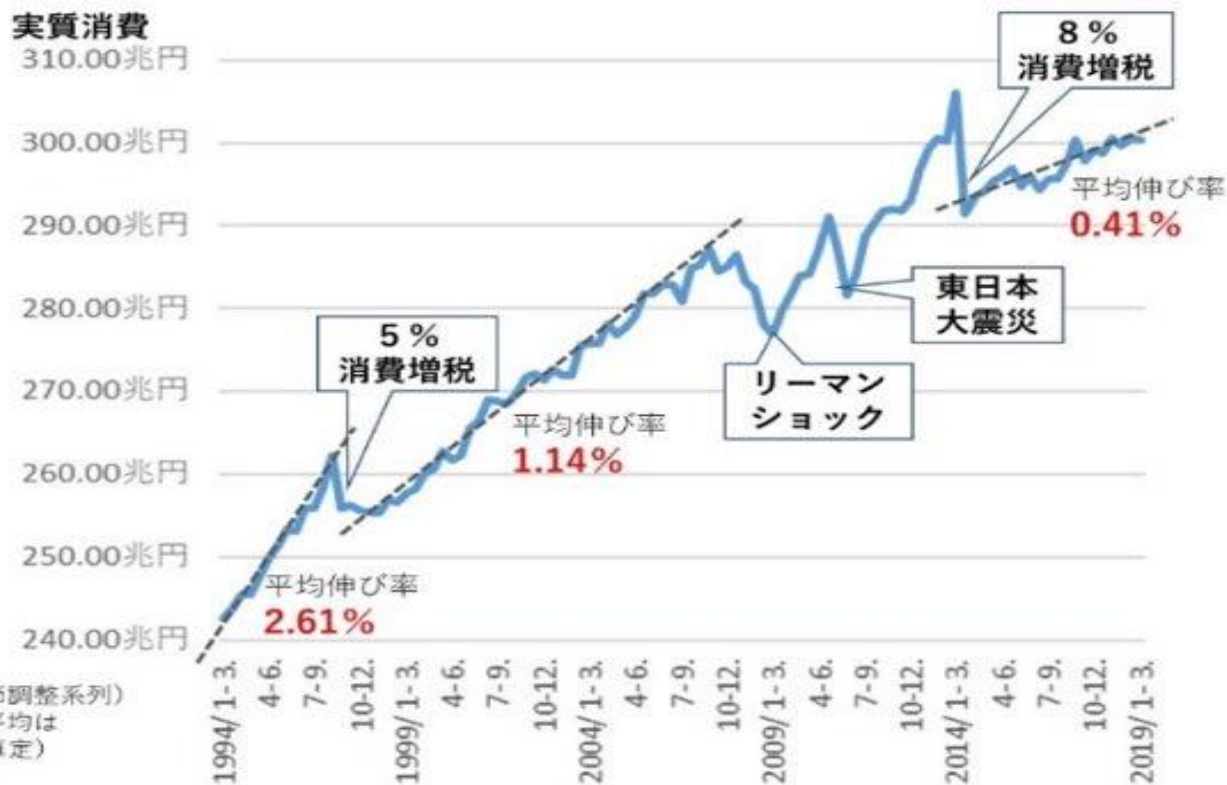
母子世帯 → 86.7%

私が考える地方が衰退した理由

- ・誤った国の政策により日本全体が貧しい
- ・もともと賃金が低かった地方では、結婚や子育てを含む生活の希望すら叶わなくなった
- ・少しでも生活の安定を求めて仙台や東京へ(賃金の格差)
- ・農業などの産業でも生活できなくなった



なぜ国が貧しくなったか 消費税が増税されるたび経済の伸び率は鈍化



出典：内閣府（実質季節調整系列）
（注：増税後の伸び率平均は増税後一年から算定）

教育現場を振り返ってみて

教育現場にも押し寄せていた
低賃金・非正規・長時間労働



政治の責任

誤った国の政策の犠牲になった労働環境の一つ

地方政治は何をしていたか？

予算、政策、条例改正など何でも国のいいなり状態



地方自治権は？

「毎年、雪にお金がかかるから、うちの町では何もできない」という答弁が返ってくる町政



緊縮財政、国債は国民の借金という考えが染みついている？



議員辞職を考える R4年4月ごろ～

教師を辞めて政治の世界へ

圧力、緊縮・あきらめ路線の行政・議会の状態に絶望

「町議会議員でいる意味は？」

と、考えるようになる

れいわ新選組へ

- ・れいわ新選組の政策や理念を知るきっかけ

⇒政策に賛同

- ・某ユーチューバー「ロスジェネ世代で緊縮路線の地方政治を目の当たりにした二藤部さんにとって、れいわ新選組との出会いは必然だった」

- ・一員として活動することによって、今の政治に必要なことを訴えることができたなら



国と地方でやるべきこと

国 ⇒ 積極財政

①消費税廃止(減税) ②季節ごとの現金給付 ③最低賃金全国一律化

※1人ひとりの生活の底上げ

地方 ⇒ 積極財政

①基金を使った負担軽減(積極財政、地方に住む人々の生活を守る)

②地方からも積極的に財政出動を求めること。

ロスジェネ世代として～生きててよかった思える国へ～

ロスジェネ世代⇒30代後半
～50代前半

30年の不景気のもっとも犠牲
になった世代。

バブル崩壊後に就職の時期
を迎えた世代で、就職の機会
に恵まれなかった世代。

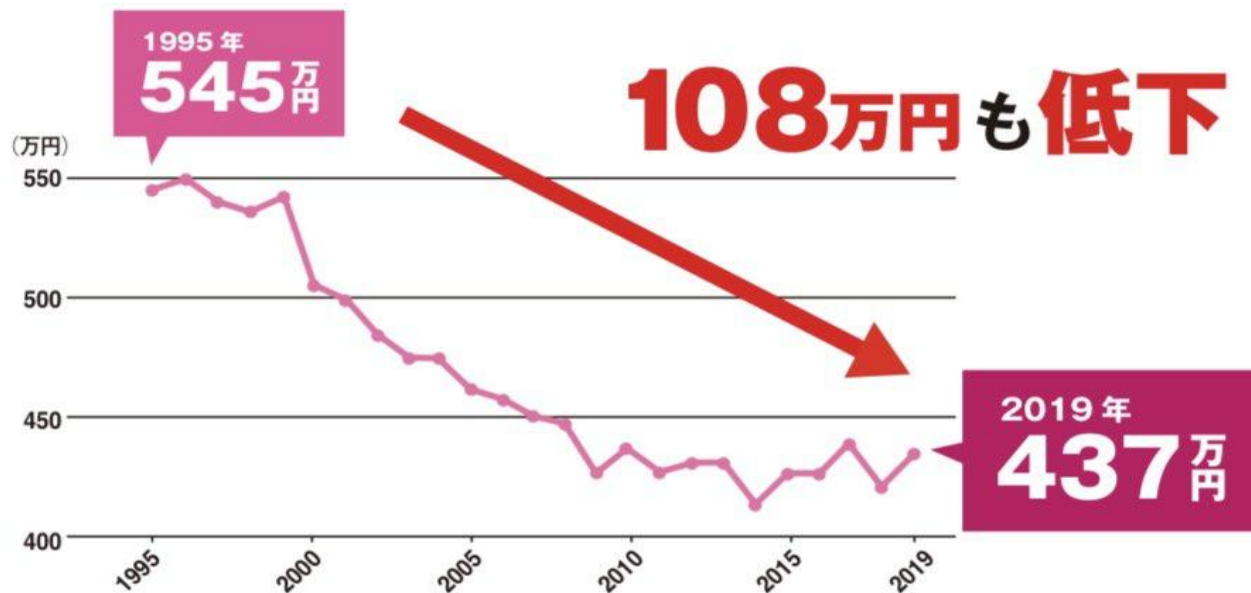
家族を持つどころか自分ひと
り生きるのに精一杯。



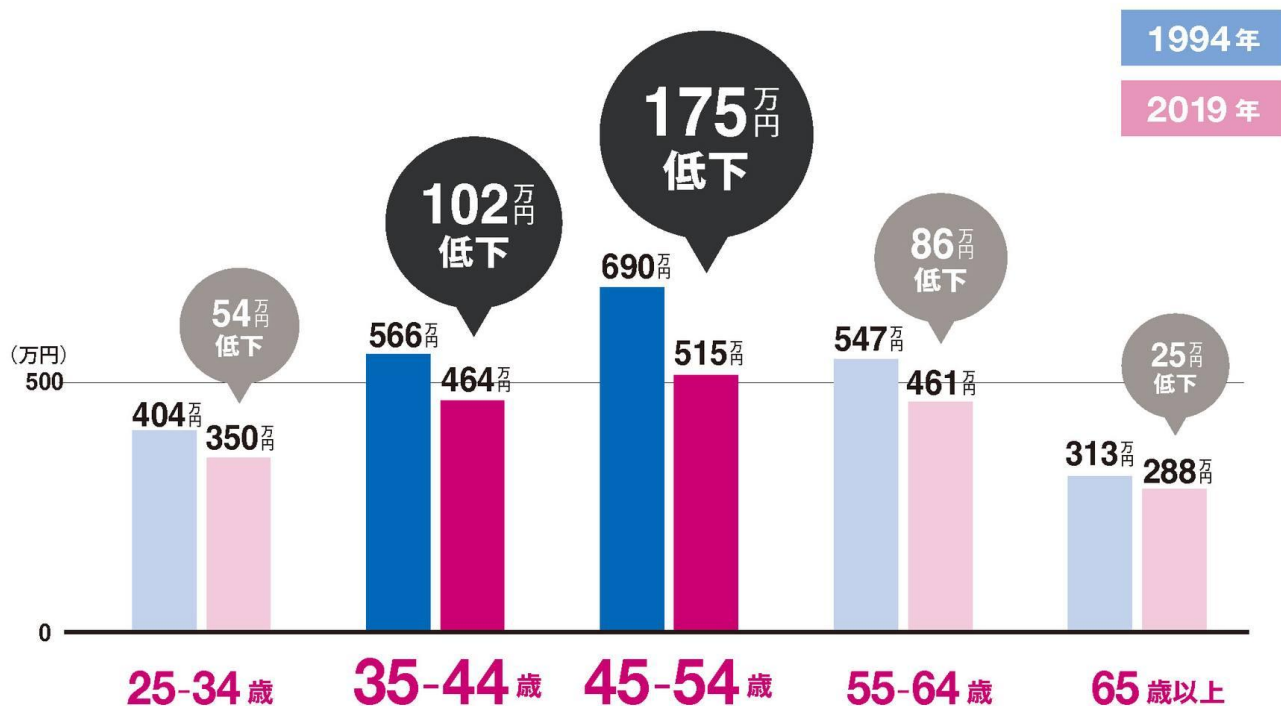
日本の現状②



1世帯あたりの所得の中央値の推移



世代別の世帯所得の中央値の変化（1994→2019年）



【出典】 令和4年度 年次経済財政報告第2-1-10図 年代別の世帯所得分布（再分配後） - 内閣府 https://www5.cao.go.jp/j-j/wp/wp-je22/h06_hz2020110.html をもとに山本太郎事務所作成 ※バネルの写しです

2022年12月1日(木) 参議院予算委員会/れいわ新選組 山本太郎

08

年齢別 貯蓄ゼロ世帯の割合

20 歳代	61.0%
30 歳代	40.4%
40 歳代	45.9%
50 歳代	43.0%
60 歳代	37.3%

【出典】金融広報中央委員会 平成29年度「家計の金融行動に関する世論調査 [単身世帯調査] 金融資産の有無」

40代二人以上世帯の貯蓄額

平均値：852万円

中央値：250万円

40代・50代単身世帯の貯蓄額

中央値：53万円

出典：金融広報中央委員会「家計の金融行動に関する世論調査（令和4年）」

ロスジェネ世代の言葉

『このまま政治が変わらなければ、孤独死するか自殺するか、自分で選択しなければならない時が来る』

誰もが生きててよかったと思える社会へ

お知らせ

- ・ポスター掲示依頼
- ・ポスティング
- ・スタンディング
- ・街宣